

認知症カフェ「椿カフェ」

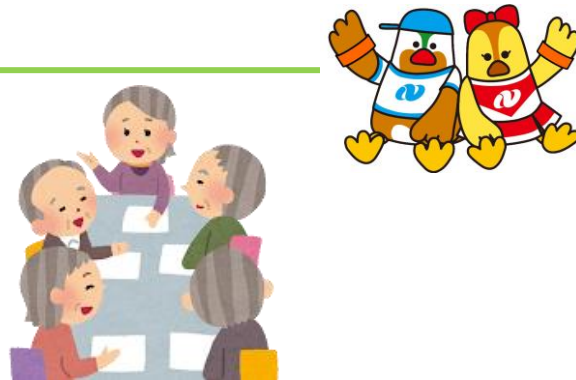
活動地域:五島市玉之浦町大宝地区
主な対象:地域の高齢者
開催方法:カフェ

活動のきっかけ

「椿カフェ」は食生活改善のグループ活動での集まりから派生する形で始まりました。年3~4回、地域での食改学習会で作られた「手作りお菓子」を皆さんでいただく時間に自然に会話が始まり、令和4年10月からボランティアさんにより開始されました。

活動の内容

開催会場は、「玉之浦健康管理増進施設」
年3~4回の開催、時間は13:00~15:00の間です。
主な内容は、講話や町の情報の共有、歌や脳トレなどを行います。
手作りのお菓子とお茶もいただきます。



ミニ講話:健康のことや暮らしの情報など
脳トレ:公文学習療法士によるプログラム
やコミュニケーション脳トレなど

活動の様子

開設当初は相互にあまり言葉を交わすこともなかったのですが、会を重ね、今は「我こそは」と会話が弾み、歌を歌い、踊りだされる方もいます。
長い間、地域の顔なじみであった方々も、日々の暮らし、子育て、介護と忙しく過ごされた時期は、ゆっくり話すようなこともないまま、別々の時間を生きておられました。ゆっくり向き合える「今」だからこそ、お互いに過去の時間を懐かしみ、称えあう暖かい時間を共にしています。

活動の様子



五島市としての取組

五島市公式ホームページ
「認知症カフェって
なんだろう」



玉之浦地域

玉之浦地区は歴史ある地域です。地域の誇りともいえる大宝寺は、701年（大宝元年）創建したと伝えられる五島最古の寺です。その後、806年（大同元年）に、遣唐使に随行していた空海が唐から帰国の際に大宝寺の付近に漂着し、国内初となる真言密教の講釈を行ったとされています。このことから、三論宗を真言宗に改宗させたといわれ、真言宗総本山の高野山に対し、大宝寺は西の高野山と呼ばれています。



連絡先

五島市役所 福祉保健部 長寿介護課 長寿支援班
長崎県五島市福江町1番1号（本庁舎）
直通電話：0959-72-6194

五島市公式ホームページ
「生活を楽しく学べるつばきカフェ」

